石神井川上流地下調節池工事に伴う準備工事（その4） 工事説明会（オープンハウス形式）

〔議事要旨〕

1. 開催概要

日時 ①令和6年12月19日（木）14時00分～20時00分
②令和6年12月21日（土）10時00分～16時00分

場所 J:COM コール田無 イベントルームA B

2. 説明内容

- 1) 石神井川を取り巻く状況
- 2) 全体事業概要
- 3) 準備工事の内容

3. 主なご質問・ご意見等と都の回答（要旨）

【説明会について】

質問①： なぜ説明会の開催時間が6時間もあるのですか。

回答①： 説明から質疑応答までを6時間かけて行うのではなく、来場者の利便性を考慮し、説明会開催時間中、ご都合の良いときに来場いただけるオープンハウス形式としているためです。

【搬出入路工事について】

質問②： 広報板と週間予定表はどこに設置しますか。

回答②： 本準備工事の工事箇所は2箇所になります。1つ目の搬出入路工事については都営アパート17号棟東側の空き地（本工事で代替駐車場として整備予定）付近に設置します。もう1つの既存遊水池の施設補修工事については遊水池東側のゲート付近に設置します。

質問③： 搬出入路工事では、現場周囲に仮囲いを設置しますか。

回答③： 本工事では万能鋼板等の高さのある仮囲いは設置しない予定です。都営アパート内通路部には腰の高さ程度のバリケードを設置し、工事エリアと歩行者通路を

区分して施工します。

質問④： 河川内の護岸補強工事は増水の影響がない時期に行うのですか。

回答④： 降雨の影響が少ない非出水期（11月～5月）に実施します。河川内の工事は、川の流れを阻害しないように実施します。

質問⑤： 隣接する保育園の昼寝時間に工事の騒音を抑える工夫はできないですか。

回答⑤： 原則、低騒音の機械を使用します。また比較的大きな音の出る樹木の伐採作業を行う場合、保育園の昼寝時間については保育園から遠い側で作業を実施します。

質問⑥： どのような騒音が発生しますか。

回答⑥： 重機のエンジン音や樹木伐採時のチェーンソー等の音が発生しますが、機械の空ぶかしを極力しないなど、十分配慮して施工を行います。

質問⑦： 搬出入路はいつまで使いますか。

回答⑦： 調節池整備が完了するまで使用します。

質問⑧： 搬出入路工事で都営アパート内通路の通行止めは行いますか。

回答⑧： 工事中、住民の皆様の出入りに支障がないよう通路の一部を歩行者用通路として確保します。通路幅は、工事期間中は1.5m、工事完了後は2mとする予定です。

【施設補修工事（遊水池）について】

質問⑨： 本工事箇所の搬出入は東側の通りからになりますか。また、住民の車両と工事車両がすれ違うのは難しくないですか。

回答⑨： 東側の通り（調布田無線）からになります。工事車両が資機材搬入のため通行します。また、工事車両の通行に際しては、交通誘導員を適切に配置し、一般車両を優先して誘導を行います。

質問⑩： 本工事で擁壁位置をセットバックする箇所に新しく入口ができるのですか。

回答⑩： 入口は既存の箇所を利用するため、新しい入口は作りません。

質問⑪： フェンスの取替にあわせて、道路を拡幅すればよいのではないですか。

回答⑪： 本箇所の工事目的は遊水池の施設補修であり、道路拡幅は行いません。

質問⑫： フェンスを更新する時に既存の入口ゲートは更新しないのですか。

回答⑫： 入口ゲートは再利用可能であることから、既存のものを再設置します。

質問⑬： 遊水池の周辺道路について、できるだけ工事車両で汚さないようにしてほしいです。

回答⑬： 道路を汚さないように十分気を付けて通行しますが、土砂等で道路を汚した場合は適宜清掃を行います。

質問⑭： 遊水池は工事後、公園になるのですか。

回答⑭： （西東京市が回答）東京都の工事完了後、公園化を予定しています。高さ 6m 程度の支柱、ネットを設置してボール広場の整備を検討しています。遊具は設置しない予定です。

質問⑮： 公園の管理は西東京市が行うのですか。

回答⑮： （西東京市が回答）東京都と調整しますが、市が管理する予定です。

質問⑯： 公園化で、たまり場になるのが不安です。昼間の在宅者も多いので、子供の声が気になるのではないかと考えています。

回答⑯： （西東京市が回答）遊水池の近隣にお住まいの方に公園計画の説明を始めており、同様の意見も聞いていますので、整備内容について今後検討していきます。

【（本準備工事完了後、別途行う）調節池本体工事について】

質問⑰： 柳沢児童広場（南町調節池）は工事完了後、どうなるのですか。

回答⑰： 南町調節池内に管理棟をつくるため、広場として現在の広さを確保することは困難です。管理棟以外の部分については、現在広場として使用している西東京市と調整が必要ですが、再度公園として使用することは可能と考えています。

質問⑱： 南町一丁目第一公園の樹木を残すことを要望します。

回答⑱： 調節池本体工事実施時には、搬出入路で支障となる範囲の樹木伐採は必要となりますが、出来るだけ多くの樹木を残せるよう検討します。（準備工事においては、本公園の樹木伐採は行いません）

質問⑲： 南町でこれから行う準備工事とその後予定されている本体工事の実施期間は重複しますか。（説明会資料 P26 参照）

回答⑲： 重複しません。準備工事の完了後、令和 7 年度中に本体工事に着手する予定です。

質問⑳： 外環の調布でのトンネル工事事故もあり、陥没が起こらないか心配です。トンネル工事の安全対策について教えてください。

回答⑳： 今回の説明会は、主にこれから現場着手する準備工事の内容や安全対策などを説明させていただく機会となります。準備工事後に行う調節池本体工事（トンネル工事を含む）の受注者はまだ決まっていないため、今後契約手続きを進め、受注者が決定後に今回同様、工事説明会を開催して具体的な安全対策などについてご説明させていただく予定です。

なお、本調節池のトンネル工事实施にあたっては、外環トンネルの陥没発生状況も踏まえ、事前に必要な調査や工法の選定などを行ってまいります。

質問㉑： 地質を調べるボーリング調査で不発弾の有無を把握できますか。

回答㉑： できません。ボーリング調査とは別に、必要な箇所の不発弾探査を行います。

【調節池工事全般について】

質問㉒： 搬出入路と代替駐車場は本体工事後、どうなるのですか。

回答㉒： 都営アパートの所有地であることから、すべての工事が完了した後は都営アパート管理者へ返還する予定です。復旧方法については、今後、都営アパート管理者と協議を行います。

質問㉓： 都営アパート内の樹木を撤去する代りに新しく樹木を植えないのですか。

回答㉓： 工事用道路と歩行者用通路で建物から河川の護岸までの全ての幅を使用するので、工事期間中は現場内に樹木を植える場所はありません。調節池整備完了後の植栽の復旧方法については、都営アパート管理者と協議を行います。

質問㉔： 文化大橋が架かる道路（調布田無線）が混雑しないように本体工事の工事車両の出入りを検討してほしいです。

回答㉔： 今回実施する準備工事としては、1日最大で20台程度の工事車両の搬出入を予定しており、交通への影響は少ないと見込んでいます。本体工事については現在対策を検討しており、詳細については本体工事の説明会で説明させていただく予定です。

質問㉕： 工事に伴う家屋への影響に関する調査（家屋調査）は行われるのですか。

回答㉕： 準備工事では周辺家屋へ影響が想定される杭打ち等の作業を行わないため、家屋調査は行いません。本体工事を実施する際には、家屋調査を行う予定です。

質問㉖： 工事中、柳沢児童広場（南町調節池）周辺で通行できる通路の範囲と時期を確認したいです。

回答㉖： 準備工事において調節池周囲は工事の範囲外であるため、周辺の通路は今までもど

おり通行できます。本体工事実施時は石神井川南側の通路が一部通行できなくなる予定ですが、その他の周辺通路や市道等が通行可能と考えています。

質問⑳： 工事中に既存の調節池や遊水池の機能は低下しないのですか。

回答㉑： 準備工事で遊水池の施設補修を行います。増水が想定される際には遊水池内に重機を存置しない等、既存の治水機能を損なわないように施工します。南町調節池においては、調節池本体の工事中も貯留量が減らないよう、調節池の一部を深く掘りさげる予定です。

質問㉒： 本事業や工事の内容が地域住民に十分に伝わっていないと感じています。今後も説明の機会を設けてほしいです。

回答㉓： 令和 3 年度に事業説明会、令和 5 年度に設計説明会を開催するなど、今回の説明会を含め、計 13 回の説明の機会を設けています。なお、説明会開催にあたっては、事業箇所周辺のみなさまを対象にチラシの各戸配布や市報での案内等を行っています。また、事業の概要や説明会での主な質問意見や回答については北多摩南部建設事務所のホームページ等で公開しています。

今後も引き続き、工事説明の機会などを通して、地域のみなさまに説明してまいります。

【本調節池事業全体について】

質問㉕： 調節池の完成予定はいつですか。

回答㉖： 完成予定は令和 17 年度です。

質問㉗： 本調節池の全体事業費はいくらですか。

回答㉘： 約 1310 億円です。

質問㉙： 河川整備計画によると護岸整備も行うとのことですが、現在の南町調節池があるのに、さらに調節池も必要なのですか。流域対策がもっと普及すれば十分ではないのですか。

回答㉚： 平成 28 年 3 月の河川整備計画では、近年の豪雨の増加を踏まえ、整備水準を年超過確率 1/20（1 時間あたり 75 ミリ）の降雨に引き上げました。この整備水準に対応するためには、既存の南町調節池に加え、護岸整備と今回整備する石神井川上流地下調節池も必要です。

また、今回新たに調節池を整備することで、護岸が未整備の上流域において洪水を貯留することが可能になるため、上流域での早期の安全度向上が図られます。

質問⑳： 市立東伏見公園付近で連絡管立坑等の整備を実施するようですが、説明会はやらないのですか。

回答㉑： 東伏見地区の事業説明会は令和 3 年に実施しており、東京都のホームページに説明会資料等を掲載しています。現在、連絡管立坑及び連絡管トンネル等の工事について設計中であり、今後、地域のみなさまを対象とした説明会を行います。また、現場作業に入る前にも工事説明会を行います。

以上